

平成 28 年度 事業報告

平成 28 年 4 月 1 日 から

平成 29 年 3 月 31 日まで

当事業団は、産業廃棄物の適正な処理その他廃棄物に関する各種事業を行うことにより、県民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与することを目的に設立された一般財団法人であり、県民に信頼される廃棄物処理センターとして廃棄物を受入れ、関係法令等を遵守した適正な処理を行うとともに、廃棄物の適正処理に関する情報の発信や啓発事業に取り組み、県民の快適な生活環境の向上等に努めた。

1 廃棄物処理事業

(1) 適正な廃棄物処理・管理の推進

平成 28 年度は、受入れ日数が 240 日で受入量は 41,672 トン(前年度比較 5,510 トン減)、1 日平均受入量では 173.63 トン(前年度比較 22.15 トン減)となり、受入量は前年度比 11.7%の減少となった。受入量減少の理由は、平成 27 年度末に焼却業務を休止したことによるものである。埋立対象廃棄物については、0.5%の増加となった。

また、平成 28 年度受入計画との比較では、4.2%の増となり、概ね計画どおりの受入実績となった。

なお、放射性物質が検出された廃棄物の受入れに当たっては、8,000 ベクレル/kg以下のものを受入れたほか、場内の空間放射線量及び放射能濃度(排水、脱水汚泥)についても定期的に計量証明機関に委託し測定を行った。

(2) 環境保全の推進

環境・水質調査の実施により環境影響の継続的監視を行った。排水等の測定結果は、いずれも地元市と締結している環境保全協定値を超えることはなかった。

(3) 安全キャンペーンの実施

いわてクリーンセンター及び施設管理運営委託業者の職員合同で、廃棄物搬入者に対して、構内速度(20 km/h 以下)遵守による安全確保(平成 28 年 7 月 11 日～15 日)や指定ルートの厳守及び無断駐車禁止の徹底(同年 10 月 3 日～7 日)などのキャンペーンを行った。

(4) 電気伝導率異常事象への対応

第Ⅱ期最終処分場地下水集排水設備から排出される水の電気伝導率が平成 26 年 3 月 18 日から上昇した事案については、「電気伝導率異常事象調査検討会議」を設置し、専門家からの技術提案を頂きながら抜本的対策を講じてきた。

当該対策は、浸出水集水管端部の構造を改良することであったが、その工事過程で、施工済範囲内になお遮水性能に係る不具合が認められた。

このため、耐水試験を繰り返し、原因箇所を特定の上、平成 28 年 12 月までに当該箇所の不具合を解消した。

なお、復旧工事については、平成 29 年 5 月末完了予定である。(契約額 183,292 千円(税込み))。

(5) 公共関与型産業廃棄物最終処分場の整備

東日本大震災津波の災害廃棄物を受入れたことにより、当センターの埋立終了時期が早まる見通しとなったことから、岩手県において次期産業廃棄物最終処分場の整備候補地の選定を進め、平成 27 年 3 月八幡平市平舘(栴沢)地区を整備予定地とすることが決定された。その後、岩手県から当事業団を次期産業廃棄物最終処分場の運営(事業)主体と決定した旨の通知(平成 27 年 9 月 8 日付け)があった。

以後、岩手県からの業務支援(6名)を受けて整備事業の準備に着手し、平成 29 年 3 月に「公共関与型産業廃棄物最終処分場整備基本計画」を作成し、平成 28 年度から 3 ヶ年の環境影響評価業務委託(契約額 93,819 千円(税込))を行っている。

2 廃棄物の適正処理及びリサイクルの普及啓発事業

(1) 事業者等に対する普及啓発

事業者等からの廃棄物処理相談等の機会をとらえ、処理方法の助言やリサイクル事業の取組事例等の紹介を行うなど、普及啓発に取り組んだ。

(2) 電子マニフェストの普及

電子マニフェスト普及のため、広報ポスターの掲出等に取り組んだ(平成 28 年度電子マニフェスト利用件数 3,915 件)。

(3) 視察者等に対する啓発

県内外からの視察者(平成 28 年度 148 名)等に対し、施設案内や DVD(施設紹介)、パネル(廃棄物の定義と種類、リサイクル事業例等)、廃棄物サンプル等を使用して、最終処分場の現状や不法投棄の防止、リサイクルの促進など、環境保全への意識啓発に取り組んだ。

また、隣接する余熱利用施設「えさしクリーンパーク」内に余熱利用に関するパネルの展示を行い、廃棄物処理事業に対する県民(利用者)の理解促進に取り組んだ。

(4) 情報公開

ホームページ内容を概ね毎月 2 回以上更新し、最終処分場等施設や環境測定結果等に関する最新情報を提供した(平成 28 年度閲覧件数 12,254 件)。また、閲覧者の利便性の向上のため、ホームページを全面的に更新した。

(主な掲載項目)

- ・ 事業団概要、施設概要、利用案内、受入基準、搬入予約、処理料金、よくある御質問(FAQ)、次期最終処分場整備事業、事業計画及び収支予算、事業報告及び決算、環境測定結果

3 自然環境保全等事業

(1) 周辺環境美化活動

いわてクリーンセンター及び施設管理運営委託業者の職員合同でセンター周辺道路の環境美化活動「クリーン作戦」を年 2 回行った(1回目:平成 28 年 4 月 13 日/2回目:同年 10 月 12 日)。

(2) 希少植物保全事業

ビオトープに移植した希少植物の生育状況を定期的に観察・調査し、必要に応じて専門家の意見を参考に保全を図った。

また、児童等を対象に希少植物観察会を開催し、希少植物の保護や自然環境保全の意識の高揚を図った（平成28年8月6日 児童14名、保護者等11名）。

4 管理業務等

(1) 理事会開催

開催月日	会議名	開催場所	会議議案
平成28年 4月26日	第26回理事会	(決議の省略)	1 理事候補者の選任 2 評議員候補者の選任 3 第9回一般財団法人クリーンいわて事業団臨時評議員会の開催
平成28年 5月16日	第27回理事会	岩手県水産会館	1 平成27年度事業報告の承認 2 平成27年度決算の承認 3 平成27年度公益目的支出計画実施報告書の承認 4 理事候補者の選任 5 評議員候補者の選任 6 監事候補者の選任 7 一般財団法人クリーンいわて事業団定時評議員会の開催 8 平成28年度収支補正予算 9 一般財団法人クリーンいわて事業団給与規程の一部改正 (報告事項:平成28年度県出資等法人運営評価)
平成28年 5月31日	第28回理事会	(決議の省略)	1 理事長の選任
平成28年 7月26日	第29回理事会	岩手県水産会館	(報告事項:職務執行状況の報告)
平成28年 10月17日	第30回理事会	岩手県産業会館	(報告事項:職務執行状況の報告、八幡平市平館(柗沢)地区最終処分場基本計画(中間案))
平成29年 1月26日	第31回理事会	岩手県水産会館	1 平成28年度収支補正予算 (報告事項:職務執行状況の報告、公共関与型産業廃棄物最終処分場整備基本計画案の概要、公共関与型産業廃棄物最終処分場整備事業環境影響評価方法書の概要)
平成29年 3月15日	第32回理事会	岩手県産業会館	1 平成28年度収支補正予算 2 平成29年度事業計画及び収支予算 3 平成29年度長期借入金の借入限度額 4 公共関与型産業廃棄物最終処分場整備に係る基本計画 5 一般財団法人クリーンいわて事業団給与規程の一部改正 6 第10回一般財団法人クリーン

			ンいわて事業団臨時評議員会の開催 (報告事項：職務執行状況の報告) (協議：公益目的支出計画の実施に係る変更届出)
--	--	--	---

(2) 評議員会開催

開催月日	会議名	開催場所	会議議案
平成 28 年 5 月 6 日	第 9 回 臨時評議員会	(決議の省略)	1 理事の選任 2 評議員の選任
平成 28 年 5 月 30 日	第 5 回 定時評議員会	岩手県水産会館	1 平成 27 年度決算の承認 2 理事の選任 3 評議員の選任 4 監事の選任 (報告事項：平成 27 年度事業報告、平成 27 年度公益目的支出計画実施報告書)
平成 29 年 3 月 27 日	第 10 回 臨時評議員会	岩手県水産会館	1 平成 29 年度事業計画及び収支予算 2 公共関与型産業廃棄物最終処分場整備に係る基本計画 (報告事項：平成 28 年度第 1～4 四半期(2 月末)事業等実施状況)